

HIV データシステムの統合：プロジェクト成果を持続させるために
(2023年11月7日)

本プロジェクトでは、カウンターパートとの共同研究に資する HIV 感染者に関するデータを管理するため、ご本人の許可をとった上で独自のデータシステム（HIV Data Network；HDN と呼んでいます）でデータを管理しています。このシステムを通じ、ウイルス量検査結果、薬剤耐性検査結果がウェブ上で迅速に地方含む病院間で共有されます。またウイルス量が高く薬剤耐性ウイルスが疑われる場合には、日本人専門家からの薬剤変更等に関するアドバイスを求める機能（コンサルテーションを受ける機会）もあり、各病院から高い評価を頂いています。しかしその一方、ベトナムの医療施設では現地公的機関や各種支援事業により、多くのデータ管理システムが既に乱立してしまっているのも現実です。それゆえに、HDN をそのまま残すことは、医療従事者にデータ入力含む運用面での負担を残してしまうことにも繋がります。



保健省の各種管理ソフトを手掛ける経験豊富な IT 業者と議論。
ユーザー目線の取入れがシステム運用の鍵になることを確認。



JICA 本部ミッションの VAAC 面談時の集合写真。
HDN、H-MED のシステム概要について意見交換を実施。

そこでプロジェクトでは、ベトナム保健省 HIV/AIDS 予防局（VAAC）が管理する国の HIV データシステム「H-MED」に HDN のコア機能を統合しようと、現在 VAAC と共にシステム会社と議論し、準備を進めています。JICA 本部ミッション時にも VAAC と面談し、HDN が取り入れた新しい機能・データ、特に薬剤耐性ウイルスに対応するための検査機能・データは、VAAC としても有用になり得ることを確認しました。プロジェクト期間が半年を切った中、ベトナムの国家システムの中にユーザーフレンドリーな形で HDN の開発要素を残し、プロジェクト成果の持続性を担保させるべく引き続き関係者と準備を進めていきます。